

# 1月給食だより

2026年1月  
富士吉田市学校給食センター

## あけましておめでとうございます

ふゆやす お がつ き けし むかし いちがつに にがつに さんがつ  
冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月  
さ ねん どまつ む つきひ はや かん し き  
去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。

かぜ りゅうこう たいちようかんり いっそう き にち  
風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日  
にち たいせつ す  
1日を大切に過ごしてほしいと  
おも 思います。

### 今年（ことし）はうま年！



うまのように野菜を  
たっぷり食べよう！



箸（はし）をうま（うま）く使いこなして  
きれいに食べよう！



よく味わってうま（うま）味  
を感じよう！

## お年玉（としだま）はもち（もち）だった!?

しょうがつ ふだん にほんぶん か かん きかい おお  
お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多かったのではな  
いでしょうか。さて、子どもたちにとって、お正月の楽しみといえばお年玉。  
しんねん いわ おとな こ こづか わた ふうしゅう たの としだま  
新年を祝って、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正  
がつ としがみさま としがみさま そな としがみさま おく もの  
月の「歳神様（年神様）」にお供えた「もち」を、歳神様からの贈り物として  
わ あた はじ としだま としがみさま たましい い い  
分け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の魂」を意味します。



## 1月11日は鏡開き

ちいき ちが  
(地域によって違いがあります)

かみ ちい わ しるこ い むびようそくさい ねが  
鏡もちを小さく割ってお汁粉などに入れ、無病息災を願っ  
た ぎょうじ ちい はもの  
て食べる行事です。もちを小さくするのに、包丁など刃物を  
つか ぶし せつぷく れんそう えんぎ わる  
使うのは武士の「切腹」を連想させるため縁起が悪いとされ、  
き て わ わ ひら  
木づちや手で割ります。また、「割る」ではなく「開く」とい  
えんぎ よ ことば つか  
う縁起の良い言葉が使われます。



## 1月の行事&記念日 3択クイズ

### 1/1 元日

Q1 おせち料理の「だて巻き」には、  
どんな願いがこめられている？

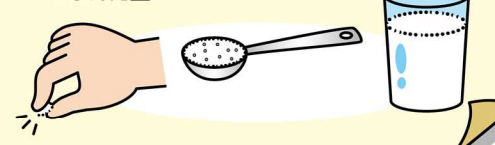
- ① 知識が身に つくように ② 恋がうまく いくように ③ 長生きできる ように



### 1/11 塩の日

Q3 「塩少々」とは、どのぐらい？

- ① 2本の指で つまんだ量 ② 小さじ1ばい ③ コップ1ばい



### 1/20 二十日正月

Q5 お供え物を食べ尽くす風習がある  
この日は、何といわれている？

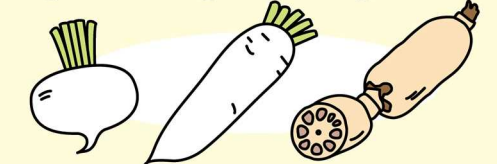
- ① 空正月 ② 骨正月 ③ 皿正月



### 1/7 人日の節句

Q2 この日に食べる春の七草  
の中で、スズシロとは何のこと？

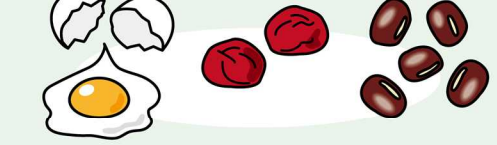
- ① かぶ ② 大根 ③ れんこん



### 1/15 小正月

Q4 この日に健康を願って  
作るおかゆには何を入れる？

- ① たまご ② 梅干し ③ あずき



### 1/24~30 全国学校給食週間

Q6 日本で最初の学校給食として  
伝わるのはどのメニュー？

- ① カレー ライス ③ コップパン、 トマトシチュー



### こたえ

Q1=① [ 巻物(書物)を表す ] Q2=② [ かぶは「スズナ」 ]  
Q3=① Q4=③ Q5=② Q6=② [ 明治22年の山形県の給食 ]







1/24～1/30 は  
「全国学校給食週間」です

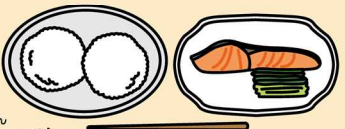
## 日本の学校給食のあゆみ

### 学校給食の始まり

明治 22 (1889) 年、山形県の私立忠愛小学校で、貧しい子どもたちへ食事を提供したのが始まりとされています。この学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが家々を回ってお経を唱え、いただいたお金や食べ物を使って食事を用意していました。大正 12 (1923) 年には、子どもたちの栄養状態を改善するための方法として、学校給食が国から奨励されるなど、各地へ広がりましたが、戦争による食料不足で中止せざるを得なくなってしまいました。

#### おにぎり

や ぎかな  
焼き魚  
つけもの  
漬物  
(明治 22 年ごろ)



五色ごはん  
栄養みそ汁  
(大正 12 年ごろ)



### 支援物資による学校給食の再開

戦後、子どもたちの栄養状態の悪化を心配する声が高まり、昭和 21 (1946) 年 12 月 24 日に LARA (アジア救援公認団体) から給食用物資の寄贈を受けて、翌 1 月に学校給食が再開されました。当初は 12 月 24 日を「学校給食感謝の日」としていましたが、その後、冬休みと重ならない 1 月 24 日からの 1 週間を「全国学校給食週間」とすることになりました。

#### ミルク

トマトシチュー  
(昭和 22 年ごろ)



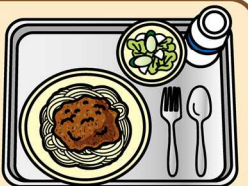
コッペパン・ミルク  
クジラの竜田揚げ  
せん切りキャベツ  
(昭和 25～30 年ごろ)



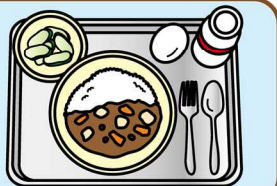
### バラエティー豊かな献立内容に

昭和 29 (1954) 年に「学校給食法」が成立したことで、実施体制が法的に整い、学校給食は教育活動として位置付けられるようになりました。主食はパンが中心でしたが、昭和 51 年に米飯 (ご飯) が正式に導入されると、カレーライスや炊き込みご飯などが登場し、献立内容が充実していきました。

ミートスパゲッティ  
牛乳  
フレンチサラダ  
(昭和 40～50 年ごろ)



カレーライス  
牛乳・塩もみ  
ゆで卵  
(昭和 51 年ごろ)



このように、学校給食の内容は時代とともに変化していますが、いつの時代も変わらずに、「子どもたちが飢えることなく、おいしく食べて、健やかに成長できるように」といった願いが込められています。現代では、大人になっても自分自身で考えて健康な食生活を送ることができるように、学校給食は「教材」としての役割も担っています。

## 富士吉田市の学校給食のあゆみ

参考資料:「富士吉田市史」

・昭和 23 年 4 月	下吉田小学校にて米軍放出物資によるミルク給食開始。
・昭和 38 年 3 月	国庫補助金、地元寄付金により、下吉田第一小を対象に完全給食開始。
・昭和 39 年 5 月	吉田小、吉田中を対象にした共同調理場が吉田小に完成。
・昭和 39 年 7 月	下吉田第二小に単独調理場完成。
・昭和 40 年 6 月	明見小、富士小、下吉田中、明見中を対象とする富士吉田市学校給食センターが下吉田地区に完成し、市内全学校へ完全給食が提供される。
・昭和 46 年 9 月	下吉田第一小の給食業務を給食センターに移管。
・昭和 49 年 12 月	アルファ一化米を使用し、米飯給食が開始。
・昭和 51 年 4 月	下吉田東小開校。給食開始。
・昭和 53 年 4 月	吉田西小開校。給食開始。
・昭和 57 年 4 月	富士見台中開校。給食開始。
・昭和 59 年 10 月	大明見地区に当時の最新調理機器を導入した学校給食センターを竣工。
・昭和 59 年 11 月	給食提供開始 平成 28 年 11 月 30 日まで稼働。
・平成 28 年 10 月	小明見地区にドライシステムを導入した学校給食センターを新たに竣工。
・平成 28 年 12 月	給食提供開始 ～ 現在に至る。



おあす み 大明見にあった給食センターの給食⇒  
(平成 28 年 7 月 1 日 御師料理給食)